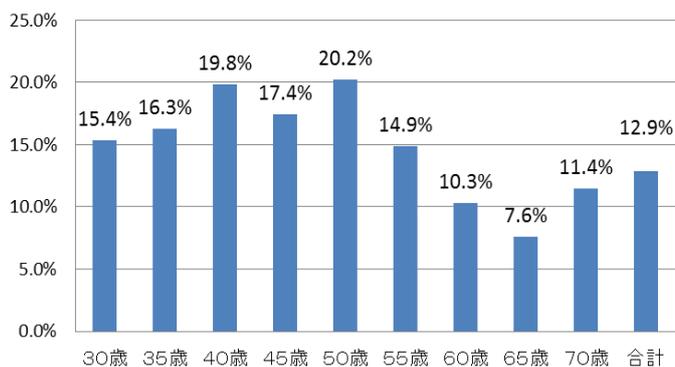


■ 年代別受診率 ■

平成29年度の総受診者数は2,165名、受診率は12.9%でした。
 男性に比べて女性の受診者が多く、年代別受診率では、50歳、40歳、45歳の順で高率でした。

	対象者数	受診者数	受診率
30歳	983	151	15.4%
35歳	1107	180	16.3%
40歳	1283	254	19.8%
45歳	1215	212	17.4%
50歳	1138	230	20.2%
55歳	1353	201	14.9%
60歳	2230	229	10.3%
65歳	3833	290	7.6%
70歳	3653	418	11.4%
合計	16796	2165	12.9%

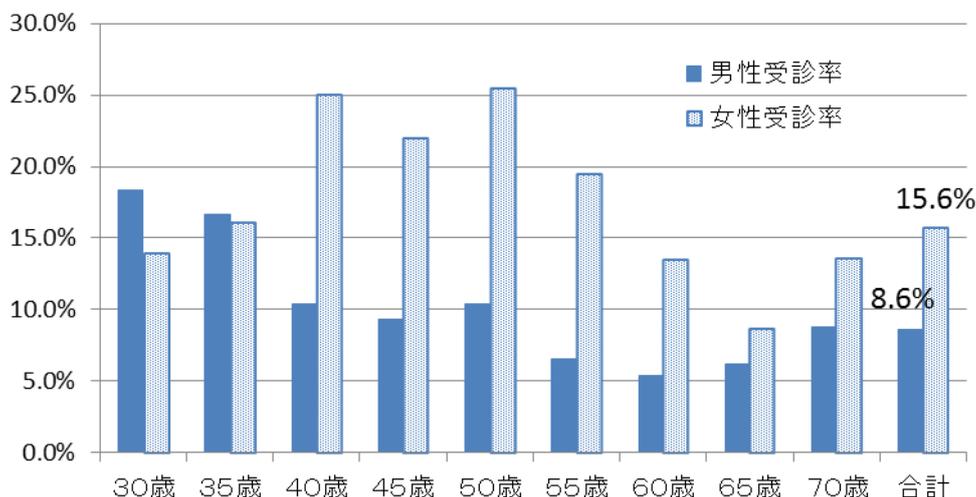
※対象者数：がん検診の対象者数（推計値）より



■ 男女別受診率 ■

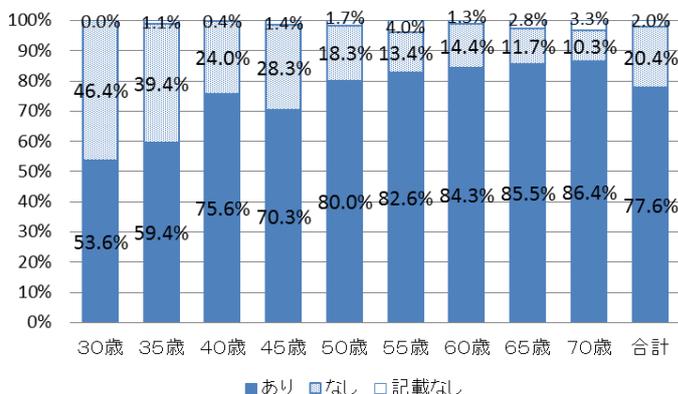
	男性			女性		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
30歳	322	59	18.3%	661	92	13.9%
35歳	348	58	16.7%	759	122	16.1%
40歳	454	47	10.4%	829	207	25.0%
45歳	430	40	9.3%	785	172	21.9%
50歳	396	41	10.4%	742	189	25.5%
55歳	477	31	6.5%	876	170	19.4%
60歳	879	47	5.3%	1351	182	13.5%
65歳	1656	102	6.2%	2177	188	8.6%
70歳	1621	142	8.8%	2032	276	13.6%
合計	6583	567	8.6%	10213	1598	15.6%

※対象者数：がん検診の対象者数（推計値）より



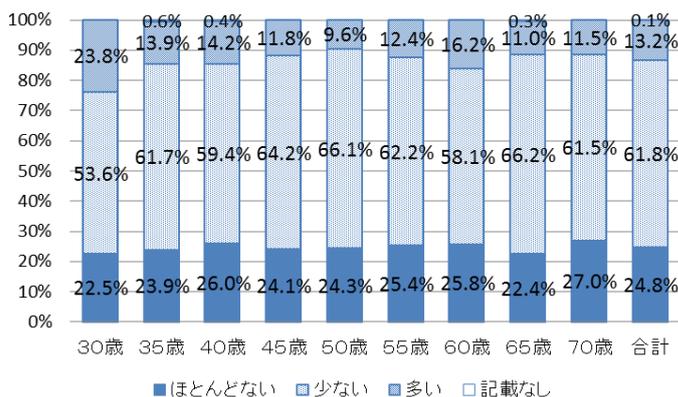
■ かかりつけ歯科医の有無 ■

受診者全体の 77.6%の方が「かかりつけ歯科医がある」と回答しています。
 この割合は平成 28 年度（73.4%）に比べて増加しています。
 年代別では、どの年代でも半数はかかりつけ歯科医があると回答しています。



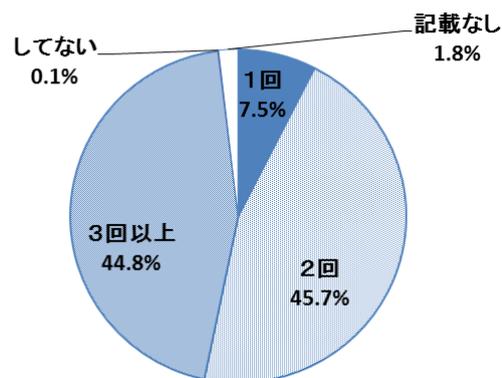
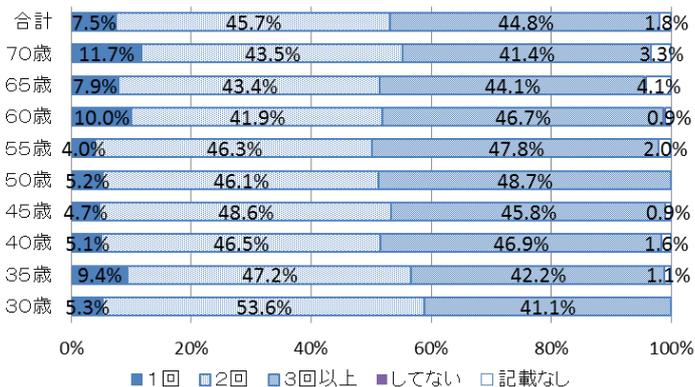
■ 口腔清掃状態 ■

口腔清掃状態は、全体で、歯石が「ほとんどない」と判断された方は 24.8%、「少ない」と判断された方は 61.8%、「多い」と判断された方は 13.2%でした。



■ 1日の歯みがき回数 ■

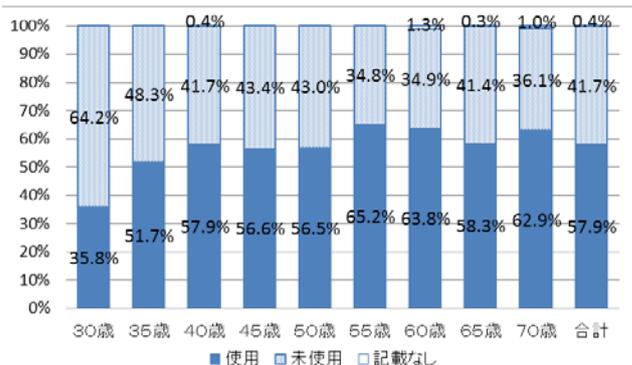
1日に行う歯みがき回数では、どの年代も 80%以上が 2 回以上行うと回答しました。
 そのうち 3 回以上の歯磨きを実施は、50 歳、55 歳、40 歳の年代で高率でした。
 全体での実施率は、毎日 1 回の歯みがきが 7.5%、2 回の歯みがきが 45.7%、3 回以上の歯みがきが 44.8%でした。



■ 歯間清掃用具の実施状況 ■

全体での歯間清掃用具の実施率は、57.9%でした。

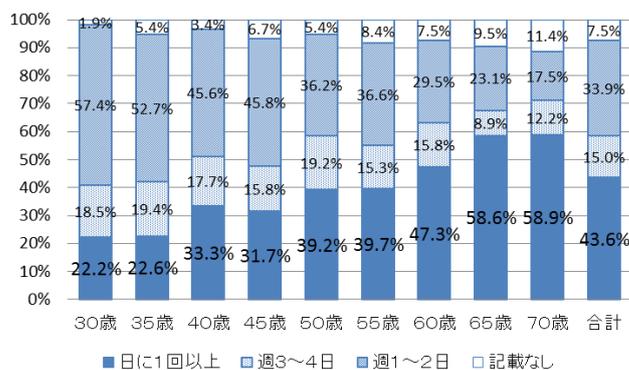
年代別に見ると、55歳で65.2%と高率でしたが、30歳では35.8%と低率でした。



■ 歯間清掃用具の使用頻度 ■

歯間清掃用具を使用している方の中で、全体で毎日1回以上実施している割合は43.6%でした。

年代別で見ると、70歳で58.9%と高率でしたが、30歳では22.2%と低率でした。



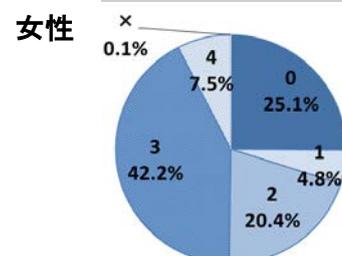
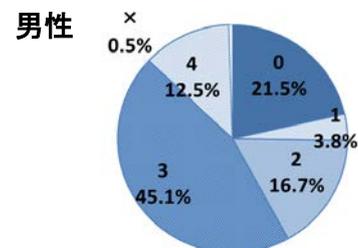
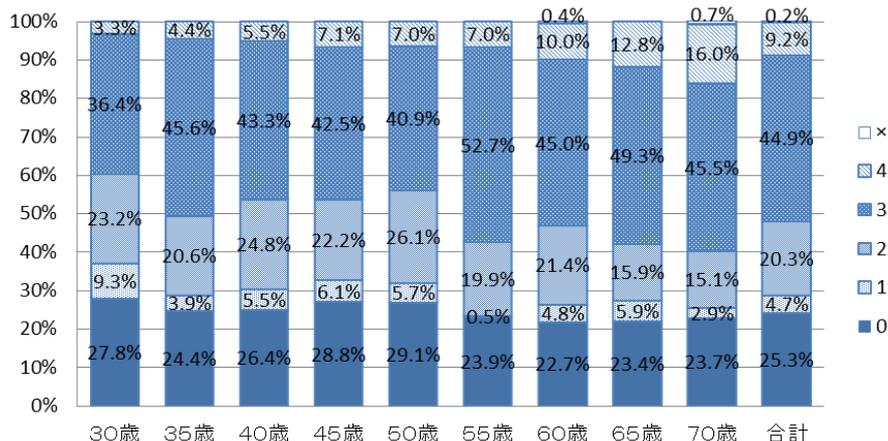
■ CPI の状況 ■

CPI 状況では、3（歯周ポケット4～5mm）の割合が最も高く44.9%でした。

男女別では、CPI 3、4の割合が男性の方が高率でした。

※CPI（歯周ポケットの計測）

- 0：健全（良好な状態）
- 1：出血あり（歯肉に軽い炎症あり）
- 2：歯石あり（歯石がついている状態）
- 3：歯周ポケット4～5mmに達する
- 4：歯周ポケット6mmに達する
- ×：除外歯

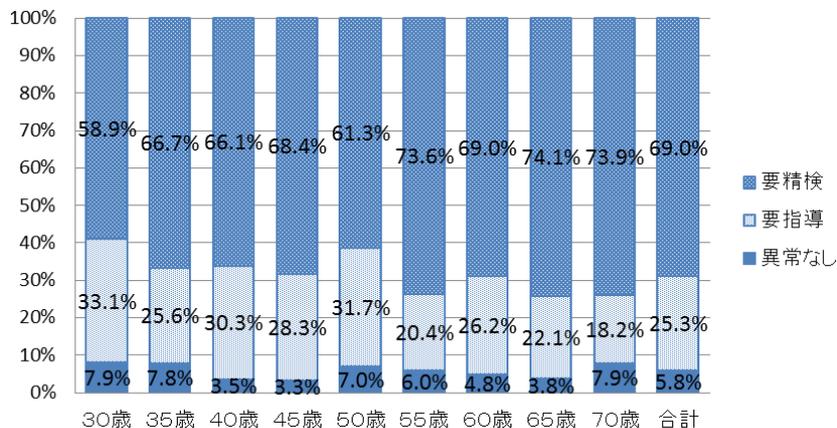


■ 診査結果 ■

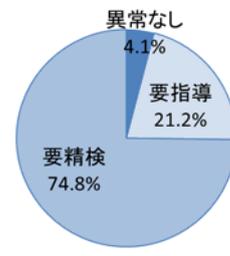
診査結果では、69.0%が要精検でした。

65歳の診査結果が最も悪く、74.1%が要精検でした。

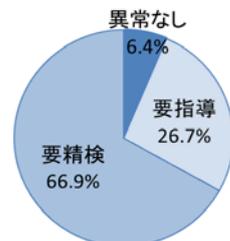
男女別診査結果では、女性に比べ男性の方が要精検の割合が高い傾向でした。



男性

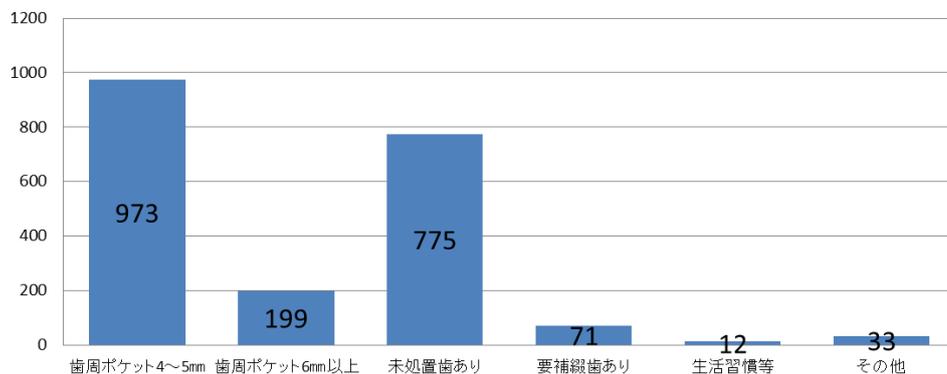


女性



■ 要精検内容 ■ 複数回答あり

要精検内容では、歯周ポケット4～5mmでチェックされた方が最も多く、次いで未処置歯ありとなりました。

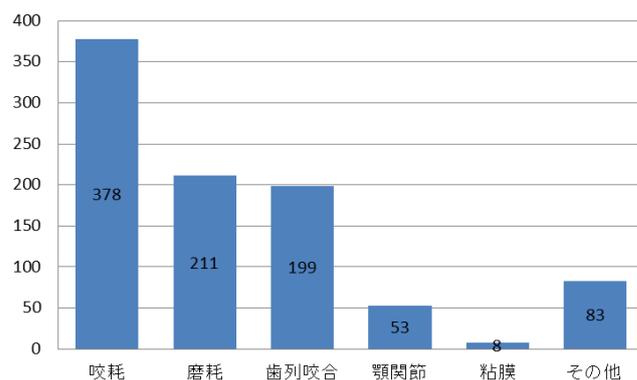
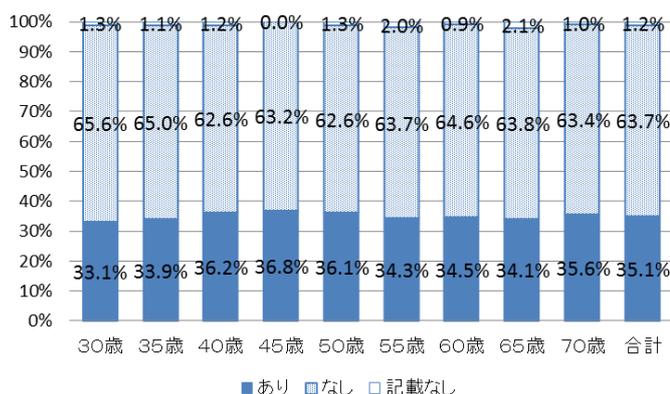


■ 所見の有無 ■

所見ありの割合は35.1%でした。全年代、3割程度が所見ありでした。

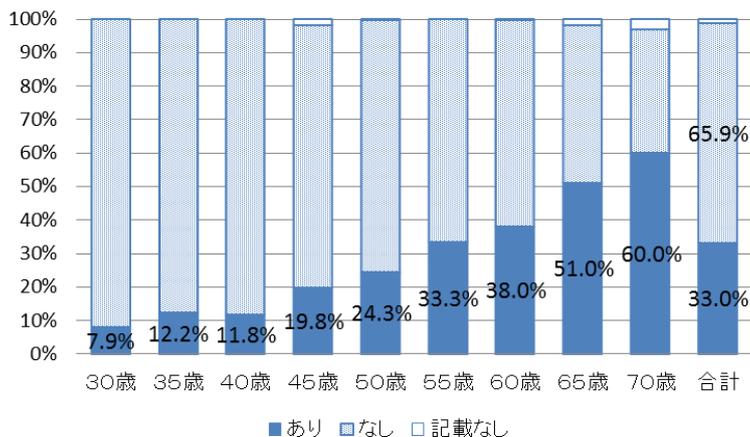
所見の内容では咬耗、次いで磨耗が多く見られました。

咬耗：歯と歯の接触によるもの
(くいしばり、歯ぎしり)
磨耗：歯ブラシによる外傷
(くさび状欠損)

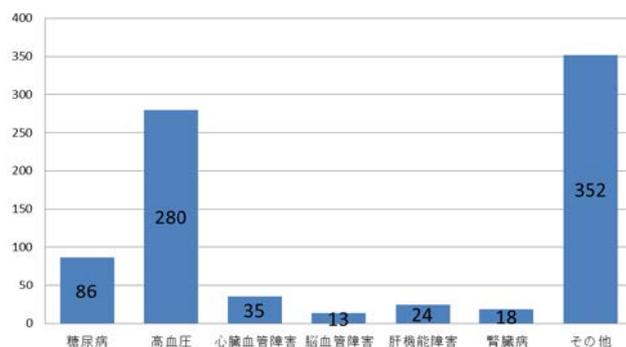


■ 治療中の病気の有無 ■

受診者数 2,165 人中、治療中の病気の無い方は 1,426 人 (65.9%)、
治療中の病気のある方は 715 人 (33.0%)、治療中の病気のうち糖尿病治療中の方は 86 人でした。



疾患名 複数回答あり



■ 糖尿病との関連 ■

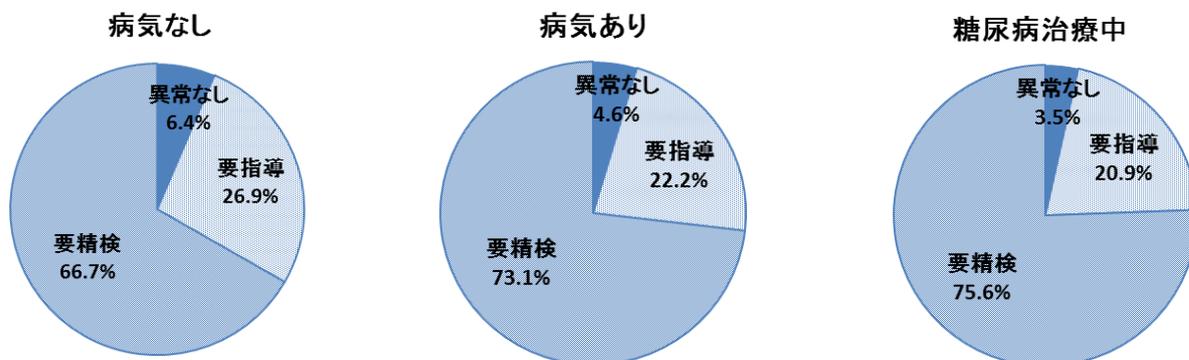
糖尿病治療中の方の診査結果・要精検の割合は、病気なし・病気ありに比べて高率でした。

また糖尿病治療中の方の CPI の状況は、病気なし・病気ありに比べて歯周ポケット 6 mm 以上の割合が高い結果でした。

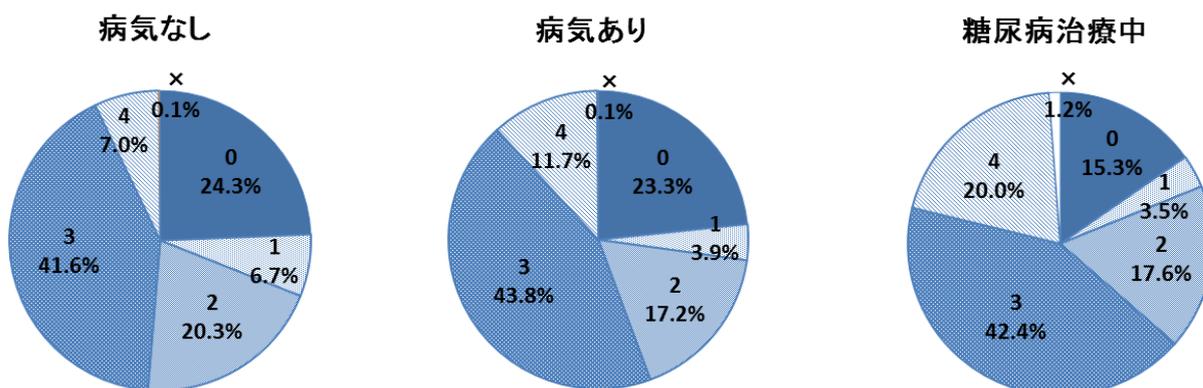
※CPI (歯周ポケットの計測)

- 0 : 健全 (良好な状態)
- 1 : 出血あり (歯肉に軽い炎症あり)
- 2 : 歯石あり (歯石がついている状態)
- 3 : 歯周ポケット 4-5 mm に達する
- 4 : 歯周ポケット 6 mm に達する
- × : 除外歯

<診査結果>



<CPI>



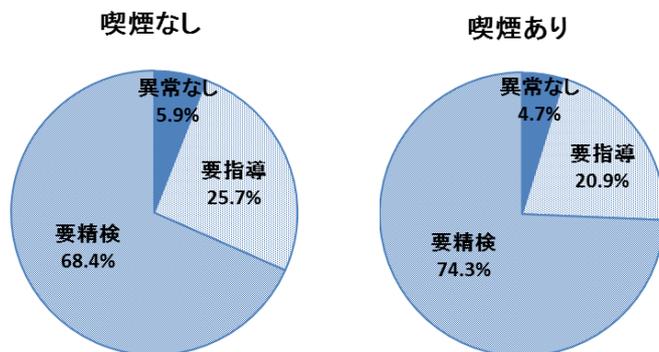
■ 喫煙との関連 ■

受診者 2,165 人中、喫煙ありは 148 人 (6.8%)、喫煙なしは 1,997 人 (92.2%) でした。

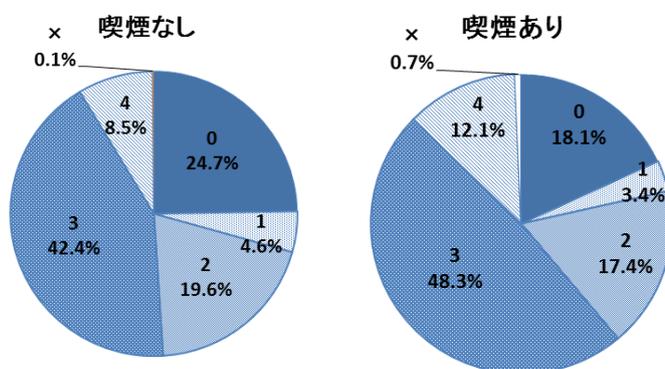
喫煙ありの診査結果・要精検の割合は、喫煙なしに比べ高率でした。

また喫煙ありの CPI の状況は、喫煙なしに比べて「3、4 (4~5 mm のポケット、6 mm 以上のポケット)」の割合が高い結果でした。

〈診査〉



〈CPI〉



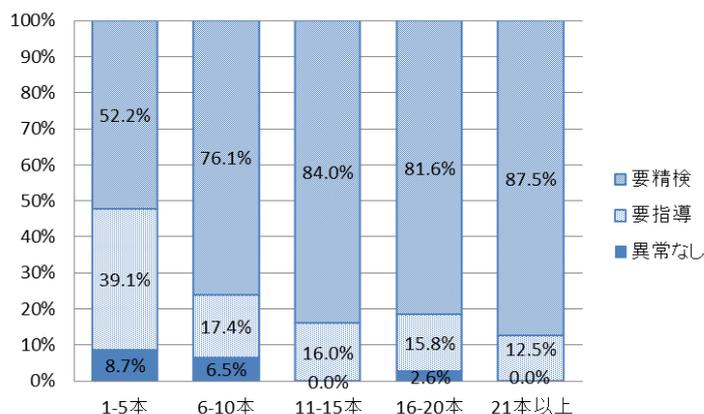
※CPI (菌周ポケットの計測)

- 0 : 健全 (良好な状態)
- 1 : 出血あり (歯肉に軽い炎症あり)
- 2 : 歯石あり (歯石がついている状態)
- 3 : 菌周ポケット 4-5 mm に達する
- 4 : 菌周ポケット 6 mm に達する
- x : 除外歯

■ 1日喫煙本数と診査結果 ■

喫煙ありと回答した方 148 人中、1日喫煙本数の回答をした方は 140 人でした。

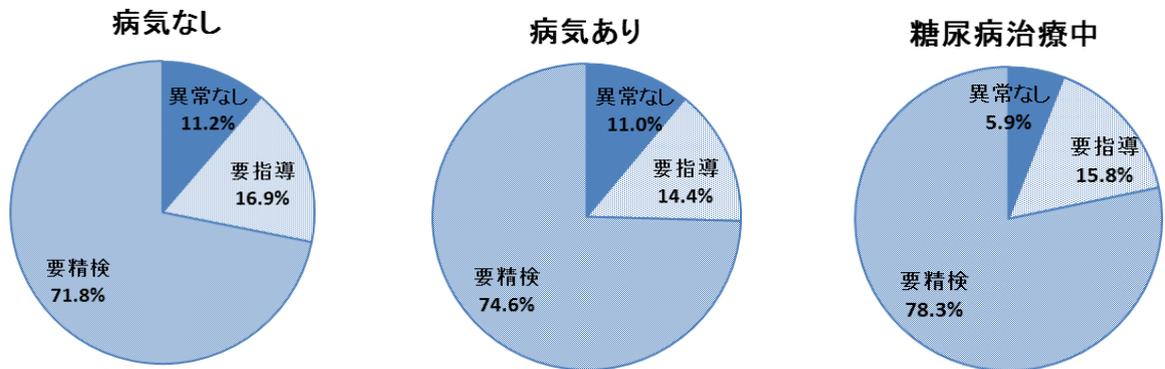
1日 11~15 本、21 本以上喫煙のある群には異常なしが見られませんでした。



たばこ(本/日)	診査結果			割合			計
	異常なし	要指導	要精検	異常なし	要指導	要精検	
1-5本	2	9	12	8.7%	39.1%	52.2%	23
6-10本	3	8	35	6.5%	17.4%	76.1%	46
11-15本	0	4	21	0.0%	16.0%	84.0%	25
16-20本	1	6	31	2.6%	15.8%	81.6%	38
21本以上	0	1	7	0.0%	12.5%	87.5%	8
合計	6	28	106	4.3%	20.0%	75.7%	140

■ 糖尿病との関連～診査結果～ ■

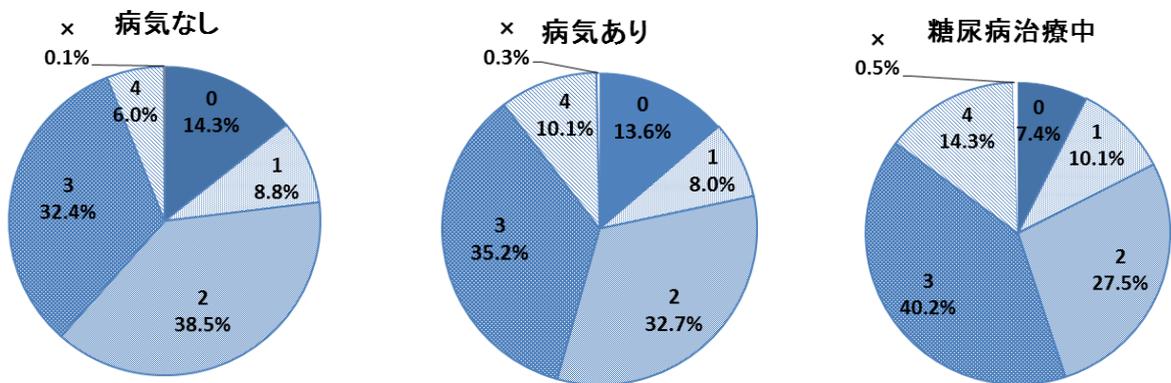
平成25年度～平成29年度受診者9,695人中、治療中の病気のある方は3,136人(32.3%)、治療中の病気のうち糖尿病治療中の方は341人でした。
糖尿病治療中の方の診査結果・要精検の割合は、病気なし・病気ありに比べて高率でした。



■ 糖尿病との関連～CPI～ ■

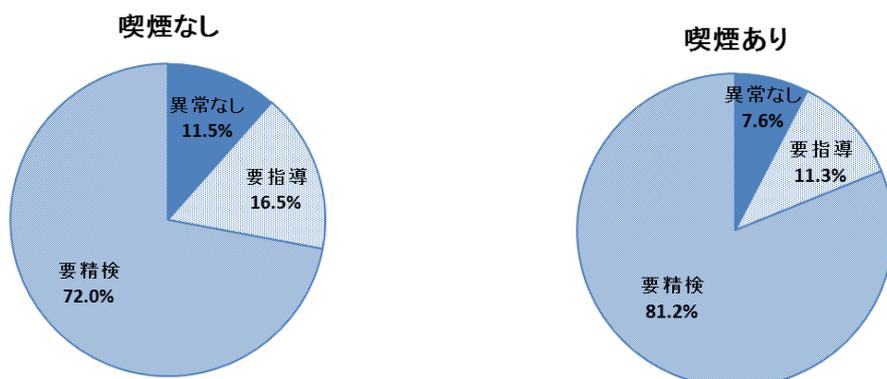
糖尿病治療中の方の歯肉の状況(CPI)をみると、54.5%が「3(4～5mmのポケット)」
「4(6mm以上のポケット)」であり、病気なし・病気ありに比べると高率でした。

※0：健全、1：出血あり、2：歯石あり、3：歯周ポケット4～5mmに達する、4：歯周ポケット6mmに達する、×：除外歯



■ 喫煙との関連～診査結果～ ■

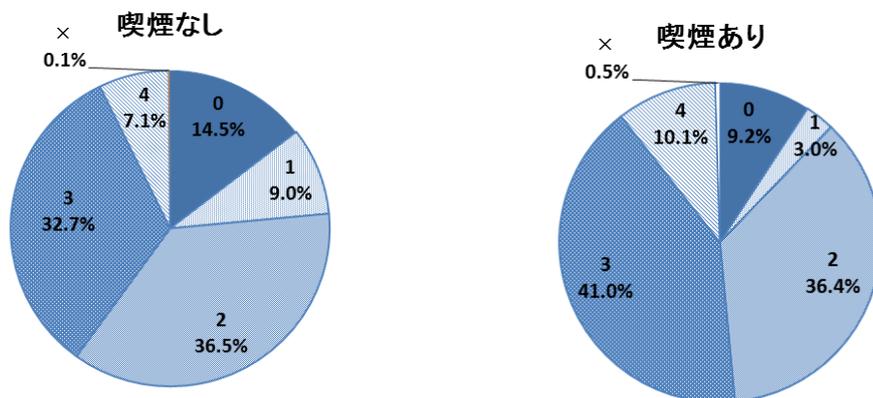
平成25年度～平成29年度受診者9,695人中、喫煙ありは754人でした。
喫煙ありの診査結果・要精検の割合は、喫煙なしに比べて高率でした。



■ 喫煙との関連～CPI～ ■

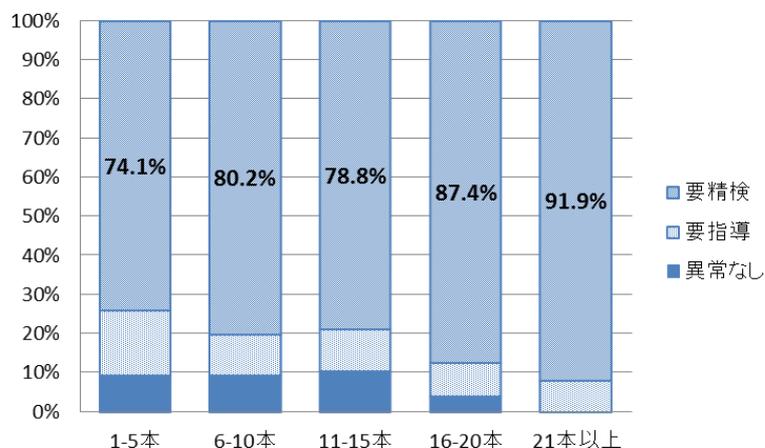
喫煙ありの歯肉の状況（CPI）で見ると、51.1%が「3（4～5mmのポケット）」
「4（6mm以上のポケット）」であり、喫煙なしと比べると高率でした。

※0：健全、1：出血あり、2：歯石あり、3：歯周ポケット4～5mmに達する、4：歯周ポケット6mmに達する、×：除外歯



■ 1日の喫煙本数と診査結果 ■

喫煙ありと回答した方 754 人中、1日喫煙本数の回答をした方は 681 人でした。
1日 21 本以上の喫煙のある方の 91.9%が、診査結果が要精検でした。

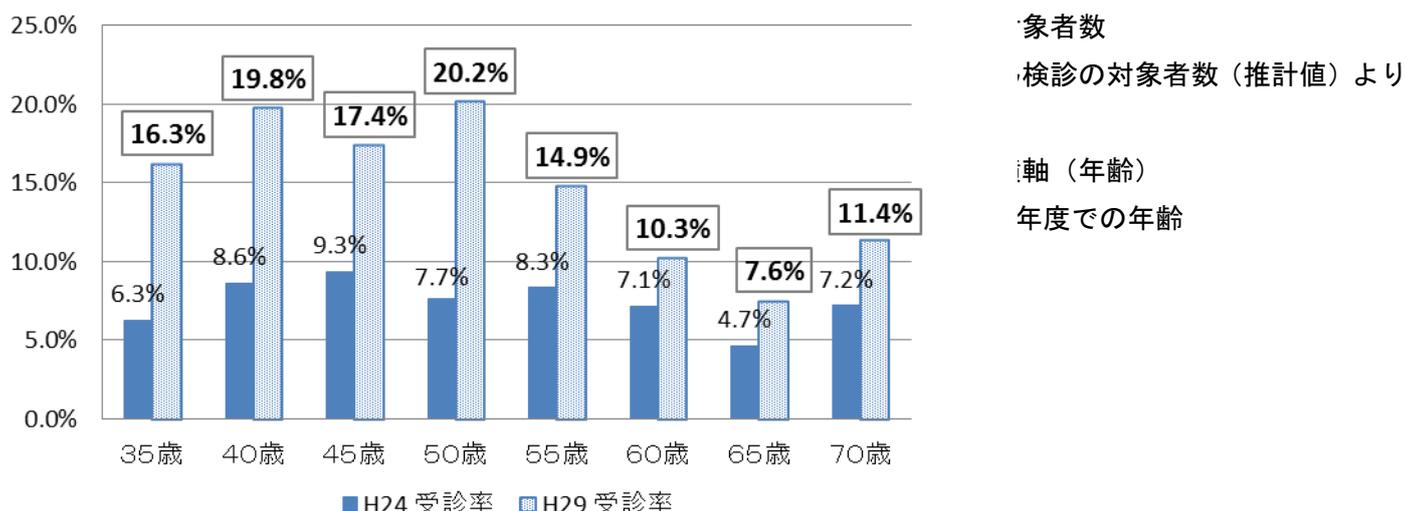


たばこ(本/日)	割合		
	異常なし	要指導	要精検
1-5本	9.3%	16.7%	74.1%
6-10本	9.3%	10.5%	80.2%
11-15本	10.6%	10.6%	78.8%
16-20本	4.0%	8.6%	87.4%
21本以上	0.0%	8.1%	91.9%

平成24年度・平成29年度成人歯科健康診査の比較結果

■ 年代別受診率 ■

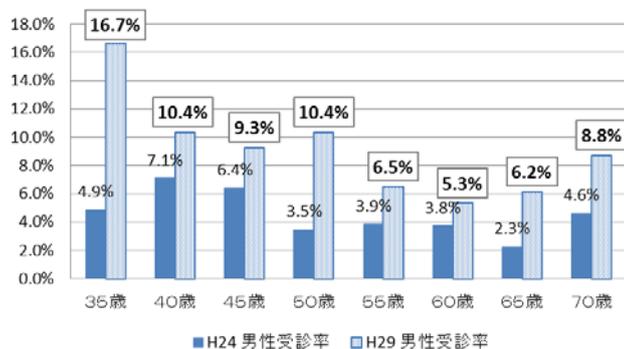
平成24年度の総受診者数は1,132名、平成29年度の総受診者数は2,165名でした。
年代別受診率について、全年代で増加し、平成29年度50歳となった群の受診率の増加が最も大きくなりました。



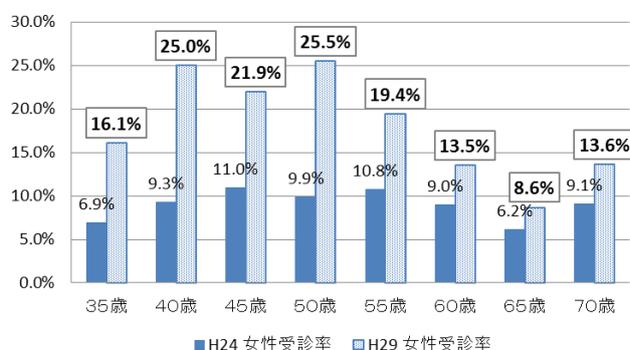
■ 男女別受診率 ■

男女別にみると、男性では平成29年度35歳での受診率、女性では平成29年度40歳での受診率の増加が大きくなりました。

男性受診率

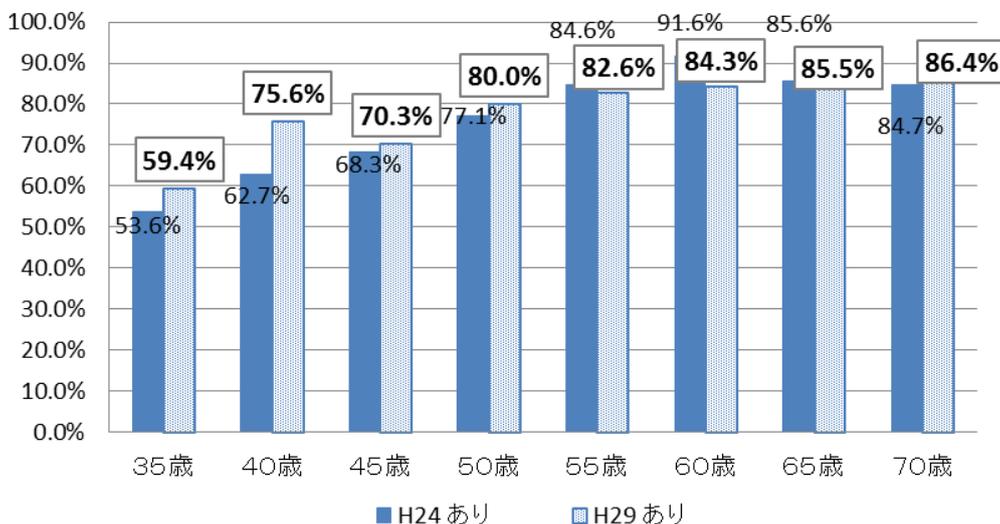


女性受診率



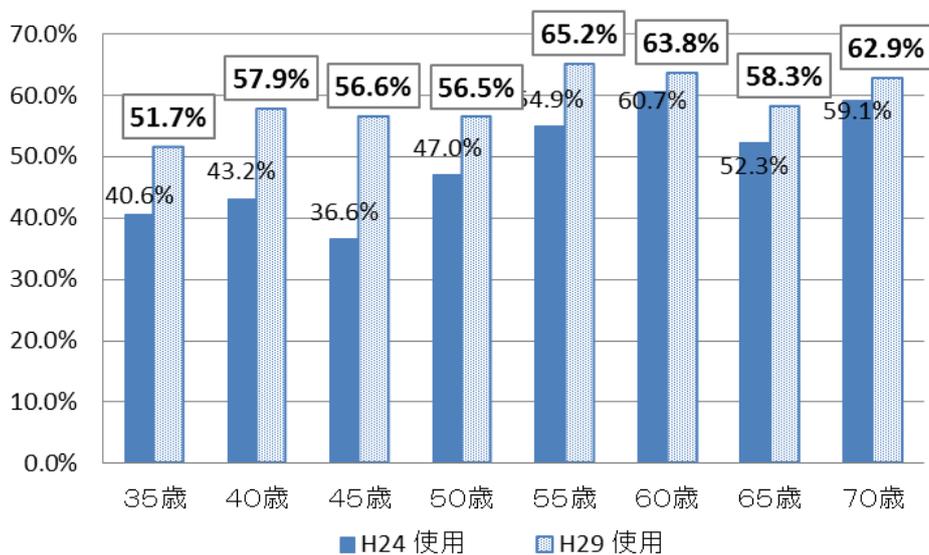
■ かかりつけ歯科医について ■

年代別では、どの年代でも半数以上はかかりつけ歯科医があると回答しています。
平成 24 年度と比べ、平成 29 年度 55 歳、60 歳、65 歳で、かかりつけ歯科医があると回答した割合が下がりました。



■ 歯間清掃用具の実施状況 ■

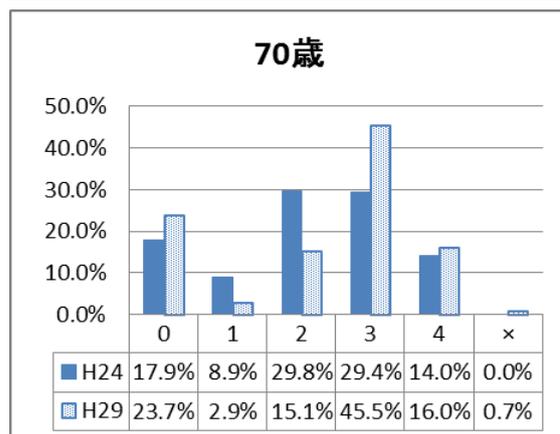
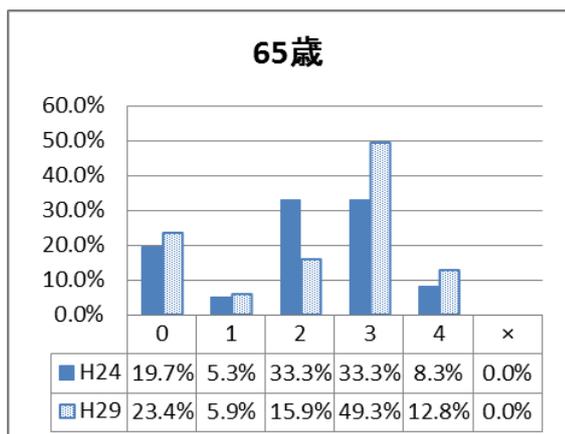
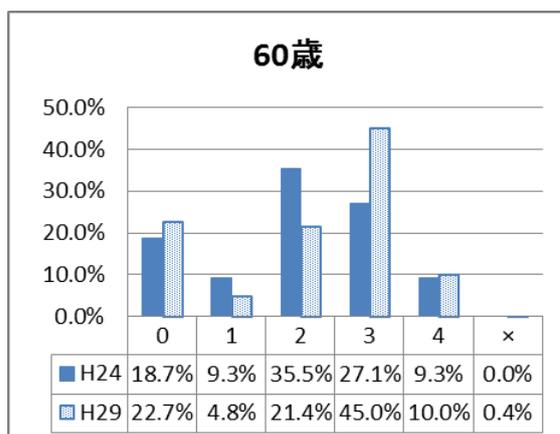
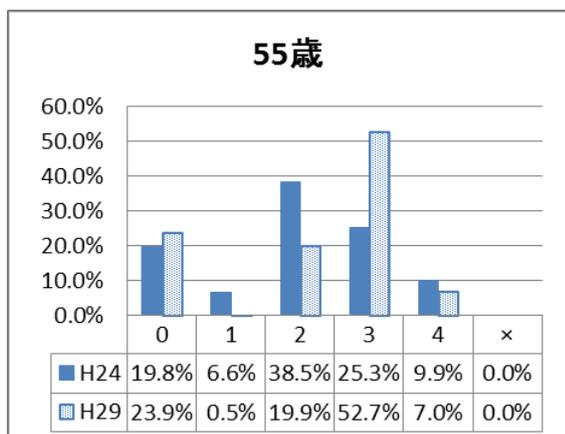
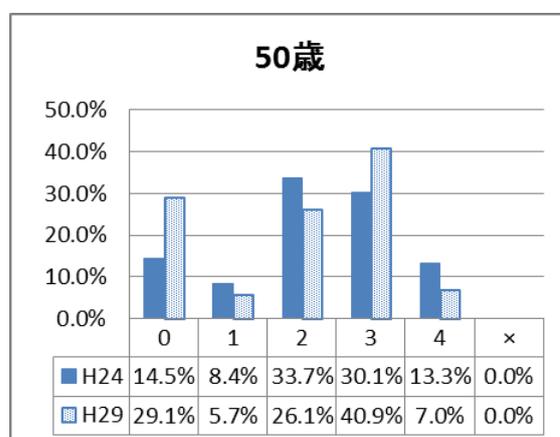
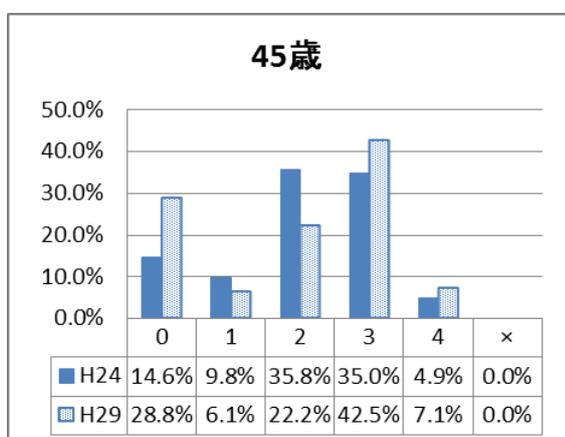
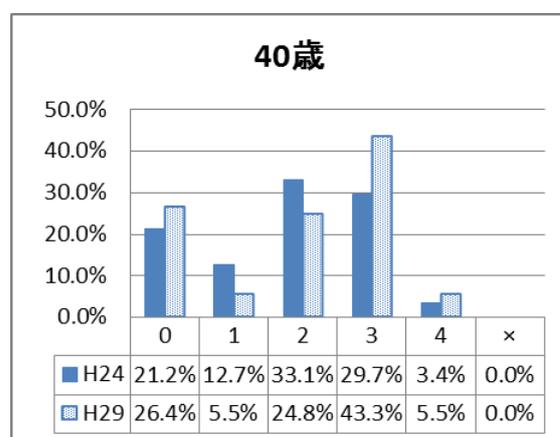
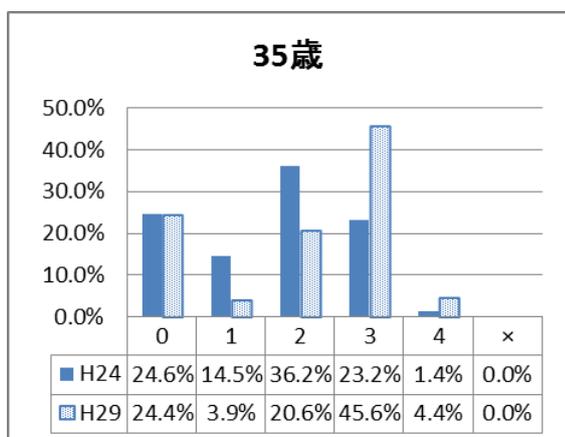
平成 24 年度と比べ、平成 29 年度はどの年代でも歯間清掃用具を使用していると回答した割合が増加しました。



■ CPI の状況 ■

平成 24 年度と比べ、平成 29 年度の CPI 状況では、どの年代でも、「3（4～5 mmのポケット）」の割合増加が大きくなりました。

※ 0：健全、1：出血あり、2：歯石あり、3：歯周ポケット 4～5 mmに達する、4：歯周ポケット 6 mmに達する、×：除外歯



■ 診査結果 ■

平成 24 年度と比べ、平成 29 年度の診査結果では、どの年代でも、「異常なし」の割合が減少し、「要指導」と診断された割合が増加しました。「要精検」の割合も約 6~7 割を占めています。

※平成 24 年度と平成 29 年度では、診断基準が変わっています。

